

一日一福キャンペーン報告用紙

福祉活動ってほんとは、とってもとっても身近にあります



下の活動メニュー例や“障害のある私たちの「よかった」の声”を参考に、あなたの考える福祉活動を始めてみましょう♪

▼福祉活動メニュー例

自分から「おはよう」と声をかける	今日10人以上に笑顔を見せる	近所の様子を気にかける	登下校の子どもたちに声をかけ・見守る	誰かのために、自分にできることを考える
障がい者に関するマークを調べてみる <small>オストメイトマーク</small>	マークを付けている人に席をゆずる (マタニティマークヘルプマーク)	「手伝えること、ありますか？」 勇気を出して聞いてみる	手話を覚え使ってみる	募金や寄付をする
分別・リサイクル活動に取り組む	道路や建物にある点字ブロックやスロープを探してみる	地域の行事やゴミ拾い活動に参加する	スーパーやお店のどこに車いすがあるか確認する	ボランティア活動に参加してみる

▼社会福祉協議会にていつでも実施中

- ★社協で実施中のフード・ドライブに食料の提供をする
(随時窓口にて受付中)
- ★ペットボトルのキャップや書き損じハガキなどを集める
(社協窓口にて回収中)
- ★ボランティアセンターに登録する(様々な活動をご紹介します!)

※きりとり※

参加人数

人

ご参加ありがとうございます！
記入後、この用紙を回収ボックスへお入れください。

▼取り組んだ福祉活動をすべてお書きください。

▼取り組んでみての感想、意見など

社会福祉協議会は略して**社協**と呼ばれています。 令和5年11月 No.136

社協はだの

編集発行 / 社会福祉法人 秦野市社会福祉協議会 SNSにて情報発信中

〒257-0054 秦野市緑町16番3号 TEL.0463-84-7711(代表) FAX.0463-85-1302 mail:shakyo@vnhadano.com HP:http://www.vnhadano.com

主な内容

- 1P 市社協の「心を育む福祉教育」って？
- 2P 障害のある私たちの「よかった」の声集めました！
- 3P 一日一福キャンペーン
- 4P

私たちは「誰もが豊かに安心して暮らせるはだの」をめざして活動しています

市社協の「心を育む福祉教育」って？

子どもたちが、自ら「見て、聞いて、触れて、考える」ことを通じて、「福祉の心」を育む取り組みです。小学校から高校まで成長過程に合わせたプログラムを提供しています。

福祉教室

企画から実践まで小中学校からの相談に応じて、「福祉教室」を出前します。

車イス体験教室
車イスの試乗・操作体験のほか車イスバスケの体験もしているよ



車イスに乗ると見える景色が違うね

高齢者施設ではどのようにお風呂に入っているのかな

夏休みボランティア体験

中学生が高齢者施設や障害者施設で1日体験。施設の役割や職員さんたちの仕事への理解を深めながら、利用者さんとの交流を楽しみます。



市内16か所の保育園で51人の高校生が一週間、子どもたちとのふれあいを体験。

この体験をきっかけに保育士として活躍している先輩もたくさんいるよ



点訳体験教室

点字の仕組みを学んで実際に点字機で自分の名前を書いてみます

この他にも、

高齢者疑似体験、手話体験、見え方いろいろ体験、認知症について、聴覚障害について、盲導犬について...etc.

障害のある方や高齢者、子どもたちとの交流や体験から、学びや気づきを得られるたくさんのプログラムをご用意しています。

本会では学校だけでなく、地域の団体や企業など大人向けの福祉教室の出前も行っています。

是非、本会の福祉教育プログラムをご活用ください！

障害がある私たちの「よかった」の声を集めました！

秦野市内には、障害者が集まる当事者団体があり、その団体でつくる「当事者連絡会」という情報交換会があります。大変なこと、困りごとだけでなく、**障害者が地域で生活をする上で「よかった」と感じたエピソード**を集めようと「よかったこと調査」を実施しました。

障害がある人もない人も、誰もが気軽に「できること」「こうだったら、うれしい！」をご紹介します。

この声をヒントに一日一福キャンペーンにもご参加ください！

駅で点字ブロックを歩いていたら「よろしければお手伝いしましょうか？」と声をかけられ、改札まで案内してくれた！
(視覚障害者)

ご近所さんが、体調を聞くのではなく、**普通の会話**をしてくれた！
(精神障害者)

フードコートで買ったものを、膝の上に乗せてテーブルまで運ぶのが大変だったが、**店員さんが声をかけてテーブルまで運んでくれた！**
(車いす利用者)

私は耳が聞こえません。コロナ禍になって、**ジェスチャーで伝えてくれる**人が増えたことは、よかったです。
(聴覚障害者)

気軽に声をかけてくれる人が増えた！
「おはよう！」と言ってくれた。
(すべての障害者)

レジが混んでいる時に、他のレジを開けて、**ゆっくり対応**してくれた！
(発達障害者)

ベンチが多いと、休み休み散歩が出来る。障害者にはうれしい。
(身体障害者)

偏見を持たずに、毎年チョコを届けてくれるご近所さんがいる。
(発達障害者)

息子が幼稚園で一緒にすごした友達は支援級や支援学校に通う今でも、気軽に手助けをしてくれる。**「同級生で友達」と呼ぶ仲間**が出来た。
(知的障害者)

窓口で書類を書く時に、障害のため、緊張して手が震えてしまう。**代筆をお願い**したら、快く引き受けてくれた。
(精神障害者)

銀行でATMの操作を、**丁寧に説明**してくれる。親切でうれしい！
(知的障害者)

美容院や理容室で、たくさん**会話をすることが負担**だったが、あまり声をかけられずにカットしてくれるので気が楽。
(精神障害者)

「一日一福キャンペーン」 実施します！



いちにち いっぷく

～ いちにち、ひとつの福祉活動。わたしも幸せ×誰かも幸せ～
ご参加ください！

「福祉活動」ってなんだか難しい。自分には関係ない。と思われている方も多いのではないのでしょうか？

福祉とは「幸せ、豊かさ」のこと。**福祉活動は、自分や周りの人たちの幸せをつくり、豊かに暮らせる社会をつくる活動です。**社会福祉協議会(社協)は、多くの方に「福祉」をもっと身近に感じてもらい、もっと気軽に福祉活動に参加してほしい、そして福祉活動を広げていきたいと考えています。

福祉活動に取り組む機会は、毎日の生活の中にありますが、特に意識して多くの方々に福祉活動に参加していただくため、**一日一福キャンペーン**を実施します。

まずは、一日に一つから。自分なりの福祉活動に取り組んでみませんか？
キャンペーン期間中に取り組んだ活動と感想をぜひ報告してください。
皆様のご参加を心よりお待ちしております。

キャンペーン期間

2023年11/15(水)～
2024年1/15(月)

対象

市内在住・在勤・在学の方

キャンペーンの概要

裏面の福祉活動メニュー例を参考に、参加者それぞれが考える福祉活動に取り組み、参加人数、活動内容、活動してみた感想をご報告ください。

報告の方法

①～③のいずれかの方法でご報告ください

① 裏面に、**参加人数、取り組んだ活動、取り組んでみた感想**を記入し、回収ボックスに投函してください。

→回収ボックスは、市内公民館、図書館、こども館、駅連絡所、保健福祉センターに設置しています。

②社協ホームページ上の「一日一福キャンペーン報告フォーム」から必要事項を入力し送信してください。

報告フォームへはこちらから→

③X(旧ツイッター)、フェイスブック、インスタグラムのコメントに「# 一日一福キャンペーン」とタグをつけて参加人数、取り組んだ活動、**取り組んでみた感想**を写真付きで投稿してください



<問い合わせ先> 社会福祉法人秦野市社会福祉協議会 電話0463-84-7711 FAX0463-85-1302
秦野市緑町16-3 保健福祉センター内 mail:shakyo@vnhadano.com